

第28回年次大会 日程

		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
9月1日 (金)								定時 社員総会	若手会員の集い		論文の書き方 セミナー		
9月2日 (土)	受付	口頭発表		昼食	口頭発表		大会企画 公開シンポジウム			会員 懇談会		懇親会	
		ポスター発表											
		英語報告会		ランチ会									
9月3日 (日)	受付	環境教育メッセ						自主課題研究		自主課題研究			
		口頭発表		昼食	口頭発表								
		ポスター発表						常設・ 特設研究会					
		特集号「アジアの環境教育」 ミーティング		昼食	「アジアの環 境教育」								
環境教育メッセ													

注) 9/2 (土)「英語報告会」は、午前10時～11時50分に時間帯を変更しました。

<開催概要>

- 期間 2017年9月1日(金)～9月3日(日)
*エクスカージョンは9月4日(月)
- 会場 9月1日(金) 岩手県立大学アイーナキャンパス
9月2日(土)～3日(日) 岩手大学学生センターA棟
- 主催 一般社団法人日本環境教育学会(第28回大会実行委員会)
- 後援 文部科学省・環境省・経済産業省・国土交通省・農林水産省・岩手大学・岩手県立大学・
岩手県・岩手県教育委員会・盛岡市・盛岡市教育委員会
- 一般社団法人 日本環境教育学会第28回年次大会 実行委員会事務局
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
岩手大学人文社会科学部(中島研究室) 気付
電話 019-621-6739 FAX 019-621-6739 E-mail <iwate2017@jsfee.jp>
- 一般社団法人 日本環境教育学会事務局(平日10時～17時)
〒206-0033 東京都多摩市落合2-6-1 株式会社インフォテック内
電話 042-311-3355 FAX 042-311-3356 E-mail<office@jsfee.jp>

一般社団法人日本環境教育学会 Web サイト
<<http://www.jsfee.jp/>>

一般社団法人日本環境教育学会第28回年次大会 Web サイト
<<http://www.jsfee.jp/members/meeting/300>>

9月1日（金）会場 <岩手県立大学アイーナキャンパス>

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号 岩手県民情報交流センター（アイーナ）7階



【アイーナへのアクセス】

JR 盛岡駅西口から徒歩4分。

東北自動車道盛岡 IC から

車で8分。

* 盛岡駅の東西自由通路を抜けると、右手にアイーナ（ガラス張りの建物）が見えます。

* アイーナ内、中央のエレベータで7階まで上がると、左手に岩手県立大学アイーナキャンパスがあります。

9月2日（土）～3日（日）会場 <岩手大学 学生センターA棟>

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8



【岩手大学へのアクセス】

JR 盛岡駅前からバス

（上田線・一高前、高松の池口

経由）で岩手大学前下車。

盛岡駅前から徒歩30分。

* 大学から盛岡駅までのバスは、上田2丁目のバス停からの乗車になりますのでご注意ください。



理工学部

コンビニ

教育学部

学生センターA 棟
受付・研究発表等

公開シンポジウム
会員懇談会

学生食堂
懇親会

人文社会科学部

図書館

正門

農学部

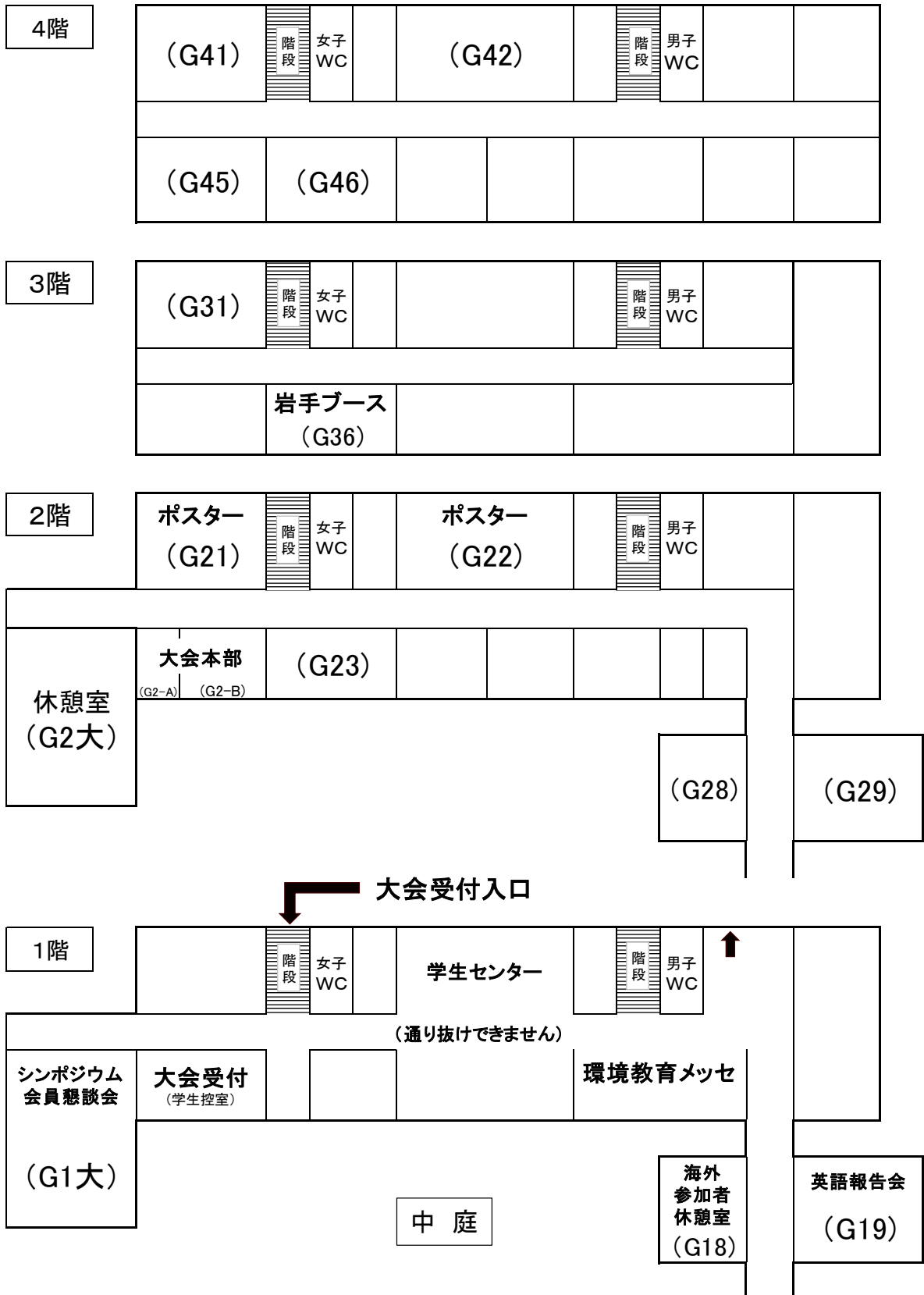
コンビニ

*岩手大学は構内全面禁煙です（喫煙所はありません）。
*車両出入口は正門のみですが、自家用車での来場はご遠慮ください。

岩手大学構内案内図

岩手大学 学生センターA棟 案内図

学生センターA棟



<会場のご案内（教室）>

校舎	階	教室	9/1(金)	9/2(土)		9/3(日)			
			PM	AM	PM	AM	13～14時	14～16時	16～18時
岩手県立 大学 アイーナ	7	学習室1	若手会員の集い						
			論文の書き方 セミナー						
岩手 大学 学生 セン ター A棟	4	G41		口頭	口頭	口頭		自主課題研究	
		G42		口頭	口頭	口頭	口頭		自主課題研究
		G46		口頭	口頭	口頭			自主課題研究
	3	G31		口頭	口頭			常設特設 研究会	自主課題研究
		G36		岩手ブース					
	2	G21		ポスター1					
		G22		ポスター2					
		G23		口頭	口頭	口頭		常設特設 研究会	
		G28		口頭	口頭	口頭		常設特設 研究会	
		G29		口頭	口頭	口頭	口頭	常設特設 研究会	
		G2-AB		大会本部					
	1	G18		海外参加者休憩室					
		G19		英語 報告会	国際交流 ランチ会	アジアの環境教育			
		G1大			シンポジウム 会員懇談会				
		学生控室		大会受付					
ホール			環境教育メッセ						

＜参加者の皆様へ＞

1. 大会全般について

- 大会受付は、9月2日（土）～3日（日）、岩手大学学生センターA棟1階の学生控室に設置いたします。参加者は必ずここで受付をしてください。
- 会場内では、大会受付でお渡しする参加票（名札）を必ず首から提げるようにしてください。（一般入場者の方と名札によって判別いたします。）
- 大会開催期間中は、会場以外の建物および教室に出入りすることはできません。
- **岩手大学は構内全面禁煙**となっています。構内に喫煙スペースはございませんので、あらかじめご了承ください。

2. お食事について

- 9月2日（土）～3日（日）は、岩手大学の中央食堂が11時～14時まで営業しています。昼食はここでとるか、大学外のコンビニエンスストア等をご利用ください。

3. 会場について

- **自家用車でのご来場は原則としてできません。**盛岡駅前から岩手県交通のバス（上田線、松園バスターミナル行、11番のりば）で岩手大学前下車。またはタクシーをご利用ください。なお、盛岡駅から会場まで徒歩でも30分弱です。
- 会員の休憩室を学生センターA棟2階G2大講義室に設置します。クロークはございませんので、こちらを荷物置場としてご自由にご利用ください。ただし貴重品等は各自が保管し、絶対に休憩室内に置かないようにしてください。

4. その他

- ATMは、中央食堂となりに「ゆうちょ銀行」（土曜日 9:00～17:00／日曜日取扱いなし）があります。

口頭発表について

日時：9月2日（土） 9:00～12:00、12:45～13:45／9月3日（日） 9:00～12:00、13:00～14:00

会場（教室）：学生センターA棟 2階 G23・G28・G29、3階 G31、4階 G41・G42・G46

1. 発表時間

1件 15分（発表 12分、質疑 3分）で進行いたします。なお、総合討論（10分）後の休憩（5分間）では、座長交代やコンピュータへのPowerPointデータ取り込み等、円滑な運営にご協力ください。発表中のベルの合図は次の通りです。

第1鈴：10分

第2鈴：12分（発表時間終了です。直ちに発表を終了してください）

第3鈴：15分（質疑終了です。直ちに次の発表者と交代してください）

- 発表者は、一つ前の発表になりましたら会場の前の方の席に待機しててください。
- 発表者は、はじめに表題と発表者名をご紹介ください。
- 質問者は、はじめに氏名と所属を述べてください。
- 発表者は、それぞれのセッションの総合討論が終了するまで、会場に待機しててください。
- 総合討論では、質問や討論が特定の発表者の発表内容に偏らないよう配慮しててください。

2. 発表機材について

- 各教室に設置済みのPCを使用してください。PowerPoint（Windows PC）が使用できます。
- PCの操作は発表者の責任で行ってください。なお、持ちこみPCを利用した発表はできません。
- PowerPointのデータは、USBメモリで当日ご持参ください。発表直前のデータ操作はトラブルの原因になりますので、ご自身の発表があるセッションの開始前（口頭発表開始時刻前、もしくは前のセッションの総合討論の時間中）に、必ず会場備え付けのPCのデスクトップ上にある各セッションのフォルダにコピーしておいてください。

※重要ウィルスチェックについて

USBメモリを媒介にしたウィルスの被害防止のため、会場に設置してあるPCには大変厳しいウィルスチェックソフトがインストールされています。もし持参したUSBメモリに、何らかのウィルスが入っている場合、会場のPCにファイルを移動することはできません。その場合、研究発表要旨、任意持ち込みの配布資料のみで発表いただくことになります。必ず事前に、各自で最新バージョンのウィルス対策ソフトで、持込みをするUSBメモリをチェックし、安全を確認してからご持参ください。USBメモリ内には、発表用のファイル以外のものは入れないようご注意ください。なお、PCにファイルを移動するタイミングは、セッション開始前もしくは総合討論と次のセッションの間の時間となりますので、協力して急ぎ行ってください。

※座長のみなさまへ

座長（司会者）はセッション全体を担当していただきます。複数の関連発表とその後の総合討論まで、責任を持って進行をお願いします。進行に関してはくれぐれも時間厳守をお願いいたします。また、討論が特定の発表者・発言者に偏らないよう、配慮してください。

※英語報告部会について

第28回大会では、口頭発表・発表要旨・質疑応答・総合討論のすべてを英語によって進行する「英語報告部会」を設定します。海外からの参加者だけでなく、会員の皆様にも積極的に英語報告部会にご参加いただき、盛り上げていただければ幸いです。

ポスター発表について

日時：9月2日（土）9：00～13：45／9月3日（日）9：00～14：00

（コアタイム：9月2日の12：00～12：45、9月3日12：00～13：00）

場所：学生センターA棟2階 G21・G22教室

- ポスターの展示スペースは、1件につき縦：1800mm×横：860mmです。
- 発表者は、9月2日（土）9：00までに所定の位置に各自掲示し、9月3日（日）15：00までに取り外して撤収を完了して下さい。
- この日程で対応いただけない場合は、あらかじめ大会事務局までご相談ください。
- 発表者は質疑応答のため、2日か3日のどちらか1日のコアタイムには、ポスターの前で待機してください。両日ともご対応いただけると、より活発な情報交換がなされます。コアタイム以外は自由閲覧としますので、発表者がその場にいる必要はありません。
- 画びょうは、大会実行委員会で準備いたしますので、必ず指定のものをご使用ください。ご自身で用意されたテープなどは使わないようにしてください。
- 撤収時間を過ぎて掲示されているポスターは、実行委員会で処分いたします。保管はいたしませんので、ご了承ください。

自主課題研究

日時：9月3日（日）14:00～16:00、16:00～18:00

場所：学生センターA棟3・4階 G31・G41・G42・G46

14:00～16:00

- ① 石綿環境問題の被害の最小化に向けた教育の検討Ⅱ＜G41教室＞
 - 榊原洋子（愛知教育大学）、外山尚紀、NPO法人東京労働安全衛生センター、久永直見（愛知学泉大学）、斎藤 宏（エタニットによるアスベスト被害を考える会）、斎藤紀代美（浦和青年の家跡地利用を考える会）
 - 永倉冬史（中皮腫・じん肺・アスベストセンター）、鈴木正昭（学校アスベストネットワーク）

16:00～18:00

- ② 質的研究法を学ぶ4＜G31教室＞
 - 高橋宏之（千葉市動物公園）、田開寛太郎（東京農工大学大学院）、秦範子（東京学芸大学）
 - 長濱和代（東京大学大学院）、浜泰一（東京大学）
- ③ 高等教育におけるESDへの貢献＜G41教室＞
 - 阿部治（立命館大学）比屋根哲（岩手大学）、鈴木克徳（金沢大学）、三次徳和（徳島大学）、大島順子（琉球大学）
- ④ 「産直」が拓く環境教育の新たな地平＜G42教室＞
 - 溝田浩二（宮城教育大学）、西城潔（宮城教育大学）、林守人（宮城教育大学）、ラザロ・エチェニケ（宮城教育大学）、村山史世（麻布大学）、小関一也（常磐大学）、
- ⑤ 環境教育学を拓く(4)＜G46教室＞
 - 原子栄一郎（東京学芸大学環境教育研究センター）・安藤聡彦（埼玉大学）

※自主課題研究会場設営および進行等の運営はすべて企画者側で行い、終了後は会場を元の状態に戻してください。前半、後半で休憩時間を取っていないため、終了時間は厳守でお願いします。

<大会参加者向けイベント>

【若手会員の集い】「若手が考える 20 年後の環境教育」プロジェクト第 3 弾

—イマジネーションアップ・ワークショップ—

9 月 1 日（金）16：00～18：00／岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室 1

【論文の書き方セミナー】

9 月 1 日（金）18：00～20：00／岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室 1

【会員懇談会】

9 月 2 日（土）16：30～17：30／岩手大学学生センターA 棟 1 階 G1 大講義室

【懇親会】

9 月 2 日（土）（受付 17：30～）18：00～20：00／岩手大学中央食堂

※会員諸氏からのお酒等の差し入れを大歓迎いたします。会場まで直接ご持参ください。

【常設・特設研究会】

9 月 3 日（日）14：00～16：00／岩手大学学生センターA 棟 2・3 階

○学校環境教育（パッケージ開発）プロジェクト<G23 教室>

○地域環境教育活性化プロジェクト「公害教育」<G28 教室>

○原発事故後の福島を考えるプロジェクト<G29 教室>

○環境教育プログラムの評価研究会：「環境教育の評価学」の確立に向けて<G31 教室>

【特集号「アジアの環境教育」ミーティング】

9 月 3 日（日）9：00～14：00／岩手大学学生センターA 棟 1 階 G19 教室

本学会では、2017 年 6 月に学会誌「環境教育」の特集号として「アジアの環境教育」（Web のみで公開）を刊行します。今大会では、この特集号から共通課題等を抽出し、今後の環境教育国際共同研究のあり方に向けて議論します。（すべてを英語によって進行します）

【国際交流ランチ会】

9 月 2 日（土）12：00～13：00／学生センターA 棟 1 階 G19 教室

韓国、台湾、北米、オーストラリアの各環境教育学会の最近の取り組みを紹介し、これら協定学会や他国からの参加者との交流を行います。（簡単な逐次通訳あり）（昼食は持ち寄り、お茶やお菓子は準備いたします）

【エクスカージョン】

9 月 4 日（月）岩手県内で以下の 3 つのツアーを予定しています。

- ・小岩井農場エコツアー（エコツアー大賞を受賞した小岩井農場の環境教育体験）
- ・盛岡市動物公園ツアー（動物園の役割・在り方と環境教育を考える）
- ・陸前高田（立教大学・岩手大学グローバルキャンパス、大震災からの復興状況視察）

*エクスカージョンの参加申込期限は 8 月 4 日（金）ですが、定員の無いツアーや定員に達していないツアーが残っている可能性があります。随時、大会 Web サイトに情報を掲載しますのでご確認ください。

<一般公開イベント> ※会員以外の方も参加できます

【大会企画・公開シンポジウム】

「災害からの復興と環境教育・ESD」

東日本大震災から6年以上が経過しました。我が国では、その後も異常気象によって各地に災害が発生し、岩手県は昨年、台風が上陸し岩泉町等では未曾有の水害に見舞われ、今年も九州地方その他で大雨による甚大な被害が発生し、いずれも多くの人命が失われています。

本シンポジウムでは、被災した地域が様々な困難を乗り越えながら、災害からの復旧・復興、そして地域創生に向けて歩みはじめる取り組みの中で、環境教育やESDが果たす役割は何かを、東日本大震災以降の歩みに焦点を当てながら、参加者とともに考えてみたいと思います。

日時：9月2日（土）14時～16時30分

場所：岩手大学学生センターA棟1階G1大講義室

1. 基調講演「東日本大震災、被災地の今」

広田純一氏（岩手大学農学部教授）

2. パネルディスカッション「災害からの復興と環境教育・ESD」

パネリスト：

梶原昌五 氏（岩手大学准教授）

佐々木剛 氏（東京海洋大学准教授）

伊藤 聡 氏（一般社団法人 三陸ひとつなぎ自然学校代表理事）

コメンテーター

阿部 治 氏（立教大学教授）

コーディネーター

高田 研 氏（都留文科大学教授）

【環境教育メッセ】9月2・3日（土・日）9：00～16：00

@岩手大学学生センターA棟1階エントランスホール

一般公開プログラムとして、大会期間中、メッセ会場にて「環境教育メッセ（環境教育見本市）」を開催いたします。環境教育に関する商品や資料の提示、販売のほか、各団体・企業の取り組みを紹介していただきます。

【岩手ブース】9月2・3日（土・日）9：00～16：00

@岩手大学学生センターA棟3階G36教室

岩手県内の団体が、環境教育に関連する活動紹介を展示します。

【資料配布スペース】

大会期間中、会員諸氏が持ち込まれた印刷物やチラシ等の配布を目的としたテーブルを、岩手大学学生センターA棟2階G2大教室に設置いたします。参加者への配布を目的として、環境教育関連資料等を持ち込まれた方は、こちらのテーブルをご利用ください。なお残部につきましては、9月3日の15：00までに撤収を完了してください。この時刻を過ぎて残っている資料につきましては、実行委員会にて処分いたします。なお、事前送付の受付や保管、郵送等による返却は一切行いませんのでご了承ください。

「若手が考える 20 年後の環境教育」プロジェクト第 3 弾

—イマジネーションアップ・ワークショップ—

○若手組織化検討ワーキンググループ

(大塚啓太[東京大学大学院]、石山雄貴[学習院大学])

キーワード：20 年後の環境教育、若手、実践、ワークショップ、協働

日時：2017 年 9 月 1 日 (金) 16:00~18:00

会場：岩手県立大学アイーナキャンパス (アイーナ 7 階) 学習室 1

1. 開催趣旨

本ワークショップは、2015 年度の第 26 回大会で開催された自主課題研究『「若手が考える 20 年後の環境教育」プロジェクト』の第 3 弾である。本プロジェクトの目的は、20 年後までを見据えた環境教育の発展を志す若手会員が集い、実践し、協働するための場を作ることである。これまでのワークショップでは若手会員がもつ、それぞれの今後学会で実現したいことを共有し、ポスターにまとめてきた。第 1 弾・スタートアップ、第 2 弾・モチベーションアップと積み重ねてきたこの試みの中で、研究者や実践者の思惑も共有できる場であることが見えてきている。

そこで、本年度のワークショップでは、実践と研究を繋ぐことを意識し、環境教育という領域で、より明確な若手の取り組みを想像する場となることを目標とした。生きる力、アクティブラーニングといった教育の動向にあって、環境教育に寄与する実践と研究の形を、若手会員が担うテーマとして考える。「若手組織化検討ワーキンググループ (前身組織「若手会員活性化ワーキンググループ)」) の担う、若手会員同士のコミュニケーションや活動の活性化と連携・協働の強化を、より良い形で提示したい。今回のワークショップでは、上記の目標の基、若手会員の環境教育実践の視点での話題提起、若手の活動への意欲、それを環境教育の実践へ活かせるか、をより明確に見据える手がかりを皆で探索していく。

2. ワークショップの概要

対象者：今後 20 年間、なんらかの形で環境教育に携わっていきたいと考えている若手 (39 歳以下) です。特に、実践と研究のより良い関係を築くことに興味がおありの方はぜひ、ご参加ください。

プログラム：

- 開催挨拶・趣旨説明・昨年度のワークショップの概要 (大塚啓太) 5 分
- 話題提供 環境教育の実践者の視点から (加藤超大・太刀川みなみ) 20 分
- 意見交換 「私がやりたいこと・若手活性化と実践をつなぐこと—私は何をするか—」
(数名のグループに分かれてのフリートーク) 60 分 (30 分 × 2 セット)
- 意見表明 「私はまず、何をするか？」 30 分

(問い合わせ先：大塚啓太 idling.stop.bus03t@gmail.com)

環境教育学会誌へ論文投稿をめざす方のための

論文の書き方セミナー

日本環境教育学会編集委員会では、当学会誌への論文投稿をめざす方々を対象に、今年も年次大会にあわせて「論文の書き方セミナー」を開催します。今回も、大学院生や若手研究者等の会員による「若手組織化検討ワーキンググループ」より、当学会誌に掲載された論文著者等のなかから「ぜひこの方の話を聞きたい！」と挙げられた方々に、話題提供をお願いしました。また冒頭には、編集委員長より編集方針や最近の投稿傾向等について説明します。話題提供者との質疑応答のほか、自由な質問・意見交換の時間も設けます。

若手会員のみならず、当学会誌への投稿を考える幅広い方々のご参加をお待ちします。

日時:2017年9月1日(金)18時~20時

場所:岩手県立大学アイーナキャンパス(アイーナ7階) 学習室1

<話題提供>

- 藤岡達也 氏(日本環境教育学会編集委員長・滋賀大学)
「『環境教育』の編集方針について」
- 布施達治 氏(千葉県立松戸向陽高等学校)
「学校からの私のESD 報告の方法
一問いの設定から実践と検討そして論文作成まで」
- 野村康 氏(名古屋大学)
「社会科学の方法論と環境教育研究
一ジャーナルの動向を踏まえて」
- 桜井良氏(立命館大学)
「どうすれば論文をたくさん書けるのか？」

主催:日本環境教育学会編集委員会・
若手組織化検討ワーキンググループ

問い合わせ:日本環境教育学会編集委員会 セミナー世話人
二ノ宮リム さち(東海大学)
電話:0463-58-1211(内線2856) Email:sachinl@tokai.ac.jp



英語報告会 English Session

Date: September 2, 2017 Time: 10:00-11:50 Language: English

Venue: Room G19, Buld. Center A (A棟 G19 教室), Iwate University

タイトル	キーワード	氏名	所属
Hunter Education as a Function of Education for Sustainable Development	Resource sustainability, conservation, education	*David Allen, Kantaro Tabiraki	Texas A&M International University
Developing the inner value of corporate social responsibility for environmental education facilities and venues	Environmental Education Facilities and Venues , Corporate Social Responsibility , inner value	Lin,Su-Hwa , * Lee,Hsin-Lin	Department of Science Education and Application, Master Program of Environmental Education and Management. National Taichung University of Education ,Taiwan
Photography for encouraging pro-environmental behavior: A study based on interview to university students	class activity, extrinsic and intrinsic motivation, qualitative and quantitative study, participatory research	ZHONG ANGGU	College of Policy Science, Ritsumeikan University

**INTERNATIONAL DISCUSSION MEETING FOR
A SPECIAL ISSUE OF
JAPANESE JOURNAL OF ENVIRONMENTAL EDUCATION:
ENVIRONMENTAL EDUCATION IN ASIA (JEE-EEA2019)**

Date: September 3, 2017 Time: 9:00-11:55, 13:00-13:45 Language: English

Venue: Room G19, Buld. Center A (A棟 G19 教室), Iwate University

Come join our meeting to share ideas, practices, and theories of environmental education in the Asian region.

Japanese Society for Environmental Education (JSFEE) published a special issue of *Japanese Journal of Environmental Education* in July 2017 as its first international collaborative effort with the partner associations of Taiwan, Korea, North America, and Australia. For this online English issue, editors and contributors were invited from all these associations for the development of discussion on EE in Asia. Some of the aims of this project were to share the situations of formal and non-formal EE and trends of EE research in three Asian countries, and to gain insights from outside of the region. This first step led to further international collaborative research, for example, to find similarities and diversities among EE in Asia, or to identify possible contributions Asia can offer to the global EE network.



To pursue the original objectives of this project, JSFEE started the International Collaborative Research Project in April, 2017. In this meeting, seven members(teams) of the project present their research plan as well as contents of the academic papers that they are planning to submit to the next issue of Japanese Journal of Environmental Education in Asia (JEE-EEA) which is scheduled to be published in June, 2019.

Coordinators/ Chief-editors: Shinichi FURIHATA, Ryo SAKURAI	
Possibilities on International Collaborative Research Initiative for E.E. in Asia (2): Designing Survey and Questionnaire	Kimiharu TO, T.C. CHANG, Chankook KIM, Sun-kyung LEE, Ryo SAKURAI, Sachi NINOMIYA-LIM, Noriko HATA, Junko KATYAYAMA, Shinichi FURIHATA
Environmental Education Using the Oriental White Stork in Japan and the Republic of Korea	Kantaro TABIRAKI, Young Sook NAM
Comparative Study of EE/ESD in Higher Education in Asia: A Proposal	Sachi NINOMIYA-LIM
Comparative Study on the Environmental Education Promotion Act in East Asia	Masahiro SAITO, Hideki SATO, T.C. CHANG.
Comparative Study of National Park as one of Environmental Education Institutions	Yuki ISHIYAMA, Yi-Hsuan Tim HSU
Comparison of Forest Education in the Compulsory Schools of Asia from a Global Perspective	Kazuyo NAGAHAMA, Akira HIYANE, Kiyotatsu YAMAMOTO, Hem GAIROLA, Laxman SATYA
Reconsidering Paulo Freire's Pedagogic Theory on Environmental Education in Japan	Yusuke SAKAI

A Special Project, The 28th Annual Meeting of
The Japanese Society for Environmental Education

日本環境教育学会 第28回大会 特別企画

International Luncheon Meeting

 国際交流ランチ会 

Let's talk ! Chatting with participants from various
places, over lunch & drinks

ランチしながら、いろいろな地域からの参加者と
おしゃべりしましょう！

Date: September 2, 2017 (Saturday)

TIME: 12:00 – 13:00

日時: 2017年9月2日(土)12~13時

Venue: Room G19, Iwate University

場所: 岩手大学 学生センターA棟G19講義室



Sandwich

Please bring your own lunch.
ランチをご持参ください。

Please bring your own cup so that you can reduce waste, while paper
cups are available.

お茶はこちらで準備します。紙コップを用意しますが、
マイカップがある方はご持参ください。



Language: English and Japanese Chinese, Korean, Spanish, and
Portuguese interpretation also available.

中国語, 韓国語, スペイン語, ポルトガル語の通訳も対応できます。



簡単な通訳ができる国際交流委員がいます。
英語が話せなくても、気軽にご参加ください。

環境教育メッセ

9月2・3日（土）9～16時@岩手大学学生センターA棟1階エントランスホールにて出店しています。ぜひお立ち寄りください。

- 1. (一般社団法人) 農山漁村文化協会**：環境教育学会のテーマにかかわるような農文協の書籍、絵本、パンフレットの展示、販売
- 2. 公益社団法人日本環境教育フォーラム**：環境教育事業の紹介。特に大阪マラソン、GEMS、清里ミーティング、バングラデシュ環境共生型地域・人づくり活動、ユース活動のPR事業紹介、入会案内・事業概要・機関誌・チラシ配布など
- 3. 公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団**：大学生が環境CSO(NGO・NPO)でインターンシップ(有給)を経験する「ラーニング制度」のPR
- 4. 福島県立相馬農業高校**：農業クラブが南相馬市を中心として取り組んでいる地域づくり・環境教育活動に関する展示、生産・販売している野菜・ハマナスの果実・花卉の加工品紹介、南相馬・福島の農業PRを目的として各生産・加工品の展示販売
- 5. 東京学芸大学環境教育研究センター**：環境教育研究センターの紹介パネル、研究報告バックナンバー、環境教育研究センターの諸事業の成果物、パンフレット
- 6. 「エコが見える学校」・三信化工株式会社**：LCAシミュレーションすごろく、金メダルから環境負荷を考える実験、文化を異文化・資源・自然・命への敬いへの気づきとするプログラム、食品ロスを考える教材の紹介

岩手ブース

9月2・3日（土）9～16時@岩手大学学生センターA棟3階G36教室にて出店しています。ぜひお立ち寄りください。

- 1. 岩手県環境生活企画室**：岩手県の環境政策紹介
- 2. NPO法人環境パートナーシップいわて**：環境問題解決に向けた経済的手法、アイーナ夜学、震災復興への取り組み(ひとの復興とコミュニティ再生支援)などの紹介
- 3. 一般社団法人いわて流域ネットワーク**：川遊びのエキスパート「アクアレンジャー」の育成、川下り体験ツアー、環境学習講師の派遣などの紹介。
- 4. 岩手県立大学**：環境講座の取り組み紹介
- 5. 岩手大学地域防災研究センター**：環境教育や震災復興・ESDに関わる展示
- 6. 岩手大学環境マネジメント学生委員会**：委員会における環境教育・省エネ省資源・廃棄物削減・緑のカーテンづくりなどの活動紹介